

資料 1

5-4 個別施策の推進期間と目標

個別施策の推進期間と目標とする指標のうち、定量的に示すことができる項目について以下に整理します。

[計画の推進期間と目標に定めた指標]

個別施策	年					指標
	2010	2020	2030	2040	2110	
① 森林情報の集積・一元化と活用（緊急）		2022年導入・運用				岡崎市版森林簿（仮）の整備 岡崎市版森林簿（仮）の管理・運用
② 放置人工林の間伐の推進（緊急）	→	→			★	放置人工林を含む地帯の間伐面積
③ 不明瞭な林地境界の解消・明確化（緊急）	→	→				林地境界確定済み面積
④ 施業の団地化・集約化の推進（緊急）	→	→				意向調査実施済み面積 団地化済み面積
⑤ 路網整備の促進（緊急）	→	→				基幹路網（林道）の総延長
⑥ 森林施業の安全性を確保した 高性能林業機械等の導入促進	→	→				高性能林業機械保有台数
⑦ 木材製品の利用促進・利用先の拡大	→	2022年運用等				木材利用の目標設定 トレーサビリティ導入支援 サプライチェーン構築 研究会等の実施回数 地域商社設立
⑧ 山地災害への備え	→	→				締結した協定数
⑨ 緑のダム機能の向上	→	→				モデル林の選定 調査方法の検討 施設の設置
⑩ 森林の適切な管理・保全	→	→				林地開発許可件数と面積 市有林の整備実績面積
⑪ 野生動植物の保護	→	→			★	岡崎市版レッドデータリストの改訂
⑫ 多様な森林づくりの推進	→	→				人工林面積 針広混交林面積 天然林面積 里山林面積
⑬ 森林被害対策の推進	→	2022年			★	ニホンジカ捕獲数 松くい虫被害と防除実績 カシノナガキクイムシ被害と防除実績
⑭ 森林環境教育の推進	→	→			★	自然体験・学習プログラム参加者
⑮ 市民・企業等の森林づくり ・森林空間の活用の推進	→	→			★	連携した数
⑯ 森林づくりに関する情報の整備と発信	→	2022年運用			★	森林所有者等向けHP作成 森林所有者変更時の案内文書発送 市民・企業向けHP・SNSの作成
⑰ 所有森林を活用する意識の向上		→			★	森林活用意識の高い森林所有者割合
⑱ 林業の担い手の育成・確保	→	→			★	林業経営体の総就業者数

★ 目標の再検討

→ 運用

資料2

2025年度個別施策進捗状況一覧

個別施策	指標	目標・実績	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年 (見込)	2025年 進捗状況	2021年度以降 累計進捗率	過去の森づくり協議会における 主な意見等(議事録)	中長期目標				目標の 実施・ 見直し	中山間政策課 以外の関係各 課
											2020	2030	2040	2110		
1 森林情報の集積・一 元化と活用	岡崎市版森林簿(仮) の整備	目標	準備	導入	導入済	導入済	導入済	2024年に導入した「岡崎 市版森林簿」を、市内の森 林全体に拡大して整備で きるように、課税情報に基 づく森林情報と従来の森 林簿情報との一元化を検 討している。		・愛知県の森林クラウドと接続しないのか。 ―「岡崎市版森林簿(仮)」では、当初は加除修正が容易 なエクセルで管理を行い、運用していく中で管理項目の 精査ができてきた時点で森林クラウドでの管理も含めて 検討する。(2024年10月)	-	-	-	-	短期	
		実績	準備	準備	準備	導入済	2025年に実施した林 分調査に関する情報を追加									
	岡崎市版森林簿(仮) の管理・運用	目標	準備	運用	運用	運用	運用	膨大なデータ容量への対 応を検討している。			-	-	-	-	短期	
		実績	準備	準備	準備	運用開始	運用									
2 放置人工林の間伐の 推進	放置人工林を含む地 帯の間伐面積(ha)	単年度の目標	217	217	217	217	217		118%		0	2,179	4,358	-	中長期	
		実績	278 (278)	275 (553)	251 (804)	227 (1,031)	251 (1,282)									
3 不明瞭な隣地境界の 解消・明確化	隣地境界確定済み面 積(ha)	単年度の目標	217	217	217	217	217		160%		3,128	5,307	7,486	-	中長期	
		実績	292 (292)	326 (618)	332 (950)	341 (1,291)	450 (1,741)									
4 施策の団地化・集約 化の推進	意向調査実施済み面 積(ha)	単年度の目標	150	150	150	150	150		116%		0	1,500	完了	-	中長期	
		実績	159 (159)	129 (288)	74 (362)	272 (634)	235 (869)									
	団地化済み面積(ha)	単年度の目標	217	217	217	217	217		166%		3,128	5,307	7,486	-	中長期	
		実績	557 (557)	317 (874)	263 (1,137)	327 (1,464)	340 (1,804)									
5 路網整備の促進	基幹路網(林道)の総 延長(m)	単年度の目標	3,066	3,066	3,066	3,066	3,066		10%	・岡崎市の目標数値は林道密度であり、理想として林道 密度20m/haで現実とはほど遠いことが理解できれば十分。 (2024年3月) ・毎年の目標達成率が20%前後であるが、法改正やコス トが高騰した現実を知る上ではこのままの方が理解が得 やすい。基幹路網としての林道は災害時の迂回路として の役割もあるため、この達成率を市としてどう考えてい くのか検討するとよい。(2024年3月)	144,338	175,000	195,000	311,843	中長期	
		実績	615 (615)	341 (956)	194 (1,150)	261 (1,411)	190 (1,601)									

資料2

2025年度個別施策進捗状況一覧

個別施策	指標	目標・実績	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年 (見込)	2025年 進捗状況	2021年度以降 累計進捗率	過去の森づくり協議会における 主な意見等(議事録)	中長期目標				目標の 実施・ 見直し	中山間政策課 以外の関係各 課			
											2020	2030	2040	2110					
7	木材利用の目標設定	目標	準備	準備	準備	設定	設定済			都市の木造化推進法では市町と民間企業が木材利用の協定を締結して木材利用を図っていくことを推進しているため、岡崎市も協定を結んでいくとよい。(2024年10月)	-	-	-	-	短期	財政課、行政 経管課、建築 課、保育課、 環境保全課、 市営住宅課、 教育委員会施 設課			
		実績	準備	準備	準備	設定	設定済 (設定した指標は 資料3を参照)												
	トレーサビリティ導入 支援	目標	-	運用	運用	運用	運用	運用			・トレーサビリティについて、岡崎市で生産される丸太の追跡ができるシステムの検討をすすめるべき。炭素貯蔵、木材利用による炭素排出のモニタリングをするとよい。 ・トレーサビリティは各事業者が各々の方法で実施しているのが実情。追跡システムやモニタリングについても手法を検討したい。(2024年3月)	-	-	-	-		短期		
		実績	-	運用	運用	運用	運用	運用											
	サプライチェーン構築	目標	-	運用	運用	運用	運用	運用									短期		
		実績	-	運用	運用	運用	運用	運用											
	研究会等の実施回数	目標	準備	6	12	18	24										短期		
		実績	準備	7	9	11	21												
	地域商社設立	目標	設立	⇒	⇒	⇒	⇒										短期		
		実績	設立	⇒	⇒	⇒	⇒												
	13	ニホンジカ捕獲数 (体)	目標	1,000	1,000	1,500	1,500	1,500										短期	農務課、防災 課、環境保全 課、廃棄物対 策課、消防本 部予防課
			実績	899	872	1,009	969	1,500											
松くい虫被害と防除 実績		目標	-	-	-	-	-									-			
		実績	0	0	0	0	0												
カシノナガキクイムシ 被害と防除実績		目標	-	-	-	-	-									-			
		実績	0	0	0	0	0												
16	森林所有者等向け HP作成	目標	運用	⇒	⇒	⇒	⇒								短期	環境保全課			
		実績	運用	⇒	⇒	⇒	⇒												
	森林所有者変更時の 案内文書発送	目標	運用	⇒	⇒	⇒	⇒								短期				
		実績	運用	⇒	⇒	⇒	⇒												
	市民・企業向けHP・ SNSの作成	目標	準備	運用	⇒	⇒	⇒								短期				
		実績		運用	⇒	⇒	⇒												

短期：運用に向けた準備や運用の実施、目標の再設定を行うもの
 中長期：数値の積み上げや進捗確認は必要だが、現時点で目標の再設定などは必要ないもの

資料3

1. 木材利用の指標別目標及び前年度の実績

No	指標	2030年までの 目標	2024年度 実績	2023年度 実績(参考)
1	素材供給量	18,180m ³ /年間	—	13,200m ³
2	製品利用量 (建材以外の什器・ノベルティなど)	135m ³ /年間	220.2m ³	90.3m ³
3	戸建住宅利用量	478m ³ /年間	91.7m ³	318.4m ³
4	非住宅での木材 利用量	130m ³ /年間	116.8m ³	54.3m ³

※2023年度の実績を踏まえて、2024年度中に目標設定を行いました。

2. 指標別の詳細実績

(1) 素材供給量 ※2023年度実績のため参考値

単位：m³

区分	年度	総数	樹種別				
			針葉樹				広葉樹
			スギ	ヒノキ	その他	計	
岡崎市	2023	13,200	3,000	7,500	700	11,200	2,000

参照：愛知県林業統計書

(2) 製品利用量

単位：m³

(株)もりまち	製材業者A	製材業者B	計
59.7	45.5	115	220.2

(3) 戸建住宅利用量

ア. 岡崎市産材住宅建設事業費補助金実績 単位：m³

構造材	内装材	計
39.1	19.8	58.9

イ. 事業者実績 単位：m³

製材業者A	計
32.8	32.8

※アの補助金実績は除く

補助金実績 58.9m³ + 事業者実績 32.8m³ = 91.7m³

(4) 非住宅での木材利用量

単位：m³

公共建築物	もりまち	製材業者A	製材業者B	計
78.7	5.5	12.6	20	116.8

資料 4

岡崎市における森林環境譲与税の用途について

1 森林環境税及び森林環境譲与税とは

森林環境税とは、2024（令和6）年度から国内に住所のある個人に対して課税されている国税であり、市町村において、個人住民税均等割と併せて1人年額1,000円が徴収されます。その税収の全額が、国によって森林環境譲与税として都道府県・市町村へ譲与されます。

森林環境譲与税は、市町村において「森林整備及びその促進に関する費用」に充てることとされています。

2 岡崎市における森林環境譲与税の充当事業について

表1 森林環境譲与税 年度別推移 (千円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
森林環境譲与税	90,540	90,540	112,621

表2 森林環境譲与税の用途状況 (千円)

区分		令和6年度	
		決算額	森林環境譲与税充当額
森林の整備に関する施策	森林整備に関する施策	94,538	91,299
	人材育成に関する施策	4,310	3,225
森林の整備の促進に関する施策	木材利用に関する施策	19,198	14,363
	普及啓発に関する施策	4,991	3,734
計		123,037	112,621



- 企業と市民が共に創る、岡崎の水源地未来戦略 -

未来へつむぐ岡崎の水プロジェクト（通称：**水プロ**）は、岡崎市上下水道局と水道関連企業10社で取り組むプロジェクトです。令和2年から始まったこの活動は、私たちの生活に欠かせない水道水を将来にわたり安定して供給できるように、水源地を守る保全活動及び活動の大切さを知ってもらう啓発を行っています。

この活動は、自分たちで体験しながら学ぶことから始まり、市内に点在する水源地の調査や清掃、そして岡崎市の山林が抱える課題や二次林の適正な管理方法について学びました。これからは、活動拠点を桑谷展望園地（約3ha）に定め、この水プロの活動をより多くの市民に知ってもらい、参画してもらいたいと考えています。この座談会は、異なる分野の専門家をお招きして、桑谷展望園地における活動方針の再定義を試みるとともに、より多くの方に活動を知ってもらうきっかけになることを期待して開催します。

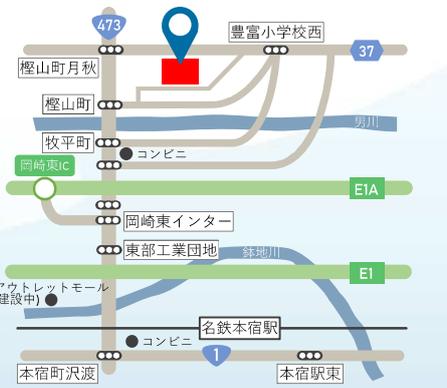
未来へつむぐ 岡崎の水と森の座談会

日時

2025 **11.18** **TUE** 10:00(開場9:30)
12:30

会場

岡崎市額田センター
こもれびかん
(1階集会室A)
岡崎市檜山町
字山ノ神21番地1



プログラム



くらじ こういちろう
蔵治光一郎

- 10:00** 開会あいさつ
岡崎市水道事業及び下水道事業管理者
中田 利隆
- 10:30** 基調講演
『健全な水循環の再生と森が果たす役割』
東京大学大学院農学生命科学研究科,教授
蔵治 光一郎
- 11:00** パネルディスカッション
『水源かん養林保全活動に取り組む企業が期待される役割とは』

参加費
無料
50名

パネリスト



司会者 岡崎まち育てセンター・りた
天野 裕

コメンテーター 東京大学大学院農学生命科学研究科,教授 **蔵治 光一郎**

(株)クボタ中部支社
支社長 **柘田 多人**

岡崎森林組合
代表理事組合長 **荻野 昌彦**

人間環境大学 環境科学部
教授 ○○ ○○

岡崎市水道事業及び
下水道事業管理者 **中田 利隆**

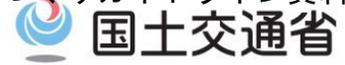
参加申込は
こちらから



水プロ参加企業10社

(50音順) (株)石垣名古屋支店、(株)エステム、岡崎市管工事業協同組合
(株)クボタ中部支社、コスモ工機(株)名古屋支店、第一環境(株)、大成機工(株)名古屋支店、
(株)日水コン名古屋支所日本鑄鉄管(株)中部支社、日本水工設計(株)名古屋支社

【公募概要】地域生活圏形成リーディング事業(調査業務)【三次募集】



- 地域課題の解決と地域の魅力向上を図り、日常の暮らしに必要なサービスが持続的に提供される「地域生活圏」の形成に向け、その担い手となる地域の多様なステークホルダーから構成される「**地域経営主体**」が行う**先導的な取組に対する支援**を行う。

支援対象者

「共助」・「共創」の観点から日常の暮らしに必要なサービスの提供に取り組んでいる民間団体を含む、**官民連携プラットフォーム**（※）

（※）取組主体の団体名における「官民連携プラットフォーム」の名称の使用、共同事業体や別会社の設立、法人格の取得等を必ずしも求めるものではなく、官民による共同応募等連携体制が担保されていることが明らかであれば足る。ただし、いずれの場合であっても、民間団体に加え、都道府県・市町村（特別区を含む）の双方の参画を必須とする。

支援対象経費・支援額

（支援対象経費）

- ① 「地域生活圏」の形成に向けた事業実施のための関係者の合意形成・意見聴取、連携・実施体制の構築、会議開催等に要する経費
- ② 日常の暮らしに必要なサービスの持続的な提供に向けた利便性の向上・複合化、地域内経済循環、新たな共助の仕組みの構築・構想検討に要する調査等経費
- ③ 「地域生活圏」の形成に向けた事業の実施に要する経費（拠点、設備、システムの導入・改修費、広告宣伝費、研究開発費、人材育成費等）

※取組実施期間を超えて所有する施設・設備の建設・整備費や備品の購入費など、支援対象外の経費あり

【事業イメージ例】

- 既存の官民連携プラットフォームが他分野との事業連携を図る場合や、官民の共同出資により企業を新たに立ち上げ複数分野にまたがるサービスを提供しようとする場合における関係者の調整・合意形成
- 暮らしに必要なサービスの現在の提供状況把握のための各種統計データ等の収集・分析
- 新たなサービスの提供に向けた実証調査の計画策定、実施及び結果分析
- 他分野との事業連携のための既存システムの改修
- 新たなサービスの提供に伴う人材育成のための研修・講習会

等

（支援額）

- ・ポイント①及び②を満たす主体：支援対象経費の1/2以内
- ・ポイント①～③の全てを満たす主体：支援対象経費の2/3以内

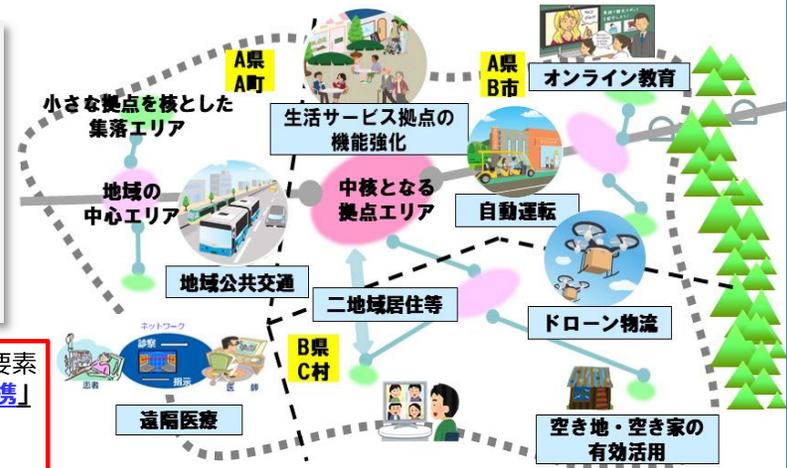
※双方ともに上限3,000万円。

※公募申請時にポイント①は必須であるが、本調査を通じ、これからポイント②又はポイント③に取り組もうとする場合も、「見込み」として要件を満たす。

※ポイント③は、市町村又は都道府県の境界を超える取組の場合に該当（必ずしも隣接である必要はない）

<地域経営のポイント> = 地域生活圏の3要素

- ① **官民パートナーシップによる「主体の連携」**
- ② **分野の垣根を越えた「事業の連携」**
- ③ **行政区域にとらわれない「地域の連携」**



地域生活圏の形成イメージ

スケジュール

（公募期間）令和7年9月11日（木）～10月10日（金）

（採択時期）令和7年10月下旬（目処）

（実施期間）採択時期から令和8年2月27日（金）まで（実施期間末日までに事業完了及び実績報告（精算申請を含む。）を行うこと。）

※今回の募集に対する応募の状況等を踏まえて、予算枠に余裕がある場合は追加公募を検討する可能性がある。

※公募の詳細については、「令和6年度 地域生活圏形成リーディング事業（調査業務）募集要領（三次募集）」を参照のこと。

森づくりガイドライン関係 今後の予定

- ・とよた森づくり委員会 10月30日(木) 14:00～
- ・岡崎市森づくり協議会 10月2日(木) 10:00～ 岡崎市役所東庁舎6階 601 会議室
- ・岡崎市水循環推進協議会 11月14日(金) 14:00～
- ・未来へつむぐ命の水と森の座談会－企業と市民が共に創る岡崎の水源地未来戦略
11月18日(火) 10:00～ こもれびかん
- ・水循環基本法フォローアップ委員会 10月22日(水) 10:00～ 議員会館